



銀の風

Vol.42
2024.5

『銀の風』は世界遺産「石見銀山遺跡」から着想を得ています。「石見銀山遺跡とその文化的景観」は人類の平和と人権の尊重をめざすユネスコの世界遺産に登録されています。

- ◆ 令和6年度新規採用職員
- ◆ 診療科紹介 / 消化器科
- ◆ 認定看護師紹介 / 皮膚・排泄ケア認定看護師
- ◆ 『部長紹介』(令和6年4月1日付 人事異動)
- ◆ 『着任医師紹介』(令和6年4月1日付)
- ◆ 市立病院からのお知らせ～面会について～



令和6年4月1日、医師6名(初期臨床研修医を含む)、看護師10名、臨床検査技師1名、作業療法士1名、事務職員1名の新入職員を迎えました。初日から2日間にわたり、病院の理念や役割、サービスの根本基準や各部署の業務概要など多くのことを学びました。
新たに迎えた仲間とともに、地域の皆様に信頼され、愛される医療機関となるようスタッフ一丸となって取り組んで参ります。

和
誠意
奉仕

- 1) 大田二次医療圏の中核病院として、5疾病5事業を中心とした急性期医療を提供します。
- 2) 病病・病診連携により、圏域に必要な医療提供に努めます。
- 3) 地域での必要度の高い疾病に対し、保険・福祉と連携した予防から介護までの一体的医療サービスを提供します。
- 4) 訪問看護等を通して在宅医療や地域医療の向上に寄与します。
- 5) 医療水準の向上と安全な医療環境整備に努めます。
- 6) 職員相互の協調によるチーム医療の実践と、よき医療人としての人材育成に努めます。

『部長紹介』(令和6年4月1日付 人事異動)



地域医療部長
すがもり たかし
菅森 峰



診療技術部長
かわかみ あつき
川上 敦樹



消化器科部長
いしだ しゅうこう
石田 周幸



事務部長
いたがき じょうじ
板垣 譲次

『着任医師紹介』(令和6年4月1日付)



産婦人科 医長
はだの なぎさ
波多野 渚

『大田圏域の産科婦人科医療に貢献できるよう精進いたします』



放射線科 医長
まつうら ふみな
松浦 史奈

『迅速・丁寧な画像診断を通して大田圏域の医療に貢献したいと思っております』



外科 医員
みうら のりと
三浦 法理人

『大田の医療を支える一助となるよう精一杯務めさせていただきます』



総合診療科 医員
いしだ なおや
石田 直也

『大田の地域に根差して医療が行えるように尽力します』

『一日一日学びを積み重ね、元気に研修に取り組む頑張ります』

しまだ りな
島田 里菜



初期臨床研修医

『元気に明るく楽しく！！大田を明るくできるように頑張ります』

ひの くりすていーなれいこ
日野 クリスティーナ礼子

市立病院からのお知らせ ~面会について~

- 患者さんを感染症から守るためにご協力をお願いいたします。
- ・手指消毒、不織布マスク着用(マスクが着用できない方は面会できません)
 - ・家族、親せき1日1回2名まで
 - ・13時~19時 1日1回30分以内
 - ・面会受付 病棟スタッフステーション
 - ・面会場所 病室、デイルーム
- ※風邪症状のある方は面会できません。面会前にはご自宅で体温測定をしてください。
※終末期などで主治医の許可がある場合には面会人数の制限を緩和します。(個室の場合に限る)
※感染状況により面会をお断りする場合があります。

『銀の風』Vol.41(令和6年1月25日発行号)掲載の記事「お正月のお花」中に誤りがありました。
(正) いけばな嵯峨御流 (誤) いけばな嵯御流 皆様にお詫びするとともに訂正いたします。

大田市立病院HP

facebook



発行:

大田市立病院
広報委員会

〒694-0063
島根県大田市大田町吉永1428-3
TEL: 0854-82-0330 FAX: 0854-84-7749

大田市立病院の様々な情報をホームページ・facebookに掲載しています。



森山 一郎
消化器科上席部長

膵がんや胆道がんは、「超音波内視鏡」という特殊な内視鏡で、がんの広がりを観察したり、針生検（細胞や組織を採取）で組織学的診断をします。

「肝臓」

採血や腹部超音波検査、腹部CT、MRIなどを用いてB型・C型慢性肝炎などの慢性肝疾患や肝がんの診断を行います。B型・C型慢性肝炎は、内服薬で治療を行い肝がんの予防に努めてまいります。肝臓は、「沈黙の臓器」と言われ、肝臓病は重症になるまで症状が出にくい臓器です。一生に一度は、肝炎ウイルス検査を受診しましょう。

※肝炎ウイルス検査については、お住まいの市町村や保健所、または当院医事室までお問合せください。

また、消化管が狭くなり、「食事の通り」が悪くなった場合には、内視鏡を用いて狭いところを風船で広げたり、ステントを留置して「食事の通り」をよくします。消化管領域は、がん患者さんが多く、外科的手術が困難な場合には、体への負担が少ない抗がん薬治療をご希望に沿って行います。

「食道・十二指腸・大腸がんにおける高度な内視鏡治療」

外科手術や放射線治療の併用、がんゲノム医療が適応となりうる患者さんなど当院のみでの対応が困難な患者さんに対しては島根大学医学部附属病院や島根県立中央病院などと連携を取りながら、最適な治療を提示します。

森山先生の
趣味は？

硬式テニスを大学の時からやっています。現在も毎週練習に参加して楽しんでます。シーズンになり、大会にも出場予定です。みなさん応援してくださいね！

| 石田 周幸 | 増原 昌明 | 森山 一郎 |
|------------------------------------|----------------------------|--------------------------------------|
| 診察日：木曜日 (主たる専門) 胆膵疾患 肝臓疾患 | 診察日：火曜日 (主たる専門) 肝臓疾患 | 診察日：月曜日 (主たる専門) 胆膵疾患 がん化学療法 |



「胆道・膵臓」

胆管結石（肝臓の外の胆管にできる結石）は、内視鏡を用いて十二指腸に排出させます。胆のう結石（胆のうの中にできる結石）は、外科手術が必要です。

また、胆管の流れが悪くなった方は、ステントと呼ばれる管を挿入して胆管の流れを良くします。

「消化管領域」

食道・胃・大腸のポリプやがんの内視鏡を用いた診断と治療を行います。食道静脈瘤や胃潰瘍、大腸憩室などからの出血なども内視鏡を用いて止血します。

人工肛門、皮膚のトラブル、胃ろうケア、褥瘡ケアの相談を受けています。

※「褥瘡」（じよくそう）とは：寝たきりなどによって、体重で圧迫されている部位の血流が滞り、皮膚の一部が赤い色味を帯びたり、ただれたり、傷ができてしまう状態のことです。重篤なものでは筋肉や骨までおよぶものもあり、時には生命に影響することがあります。一般的に「床ずれ」とも言われています。

小笠原 幸子 主任看護師
(皮膚・排泄ケア
認定看護師)



皮膚・排泄ケア認定看護師とは、創傷・オストミー（人工肛門・人工膀胱）・失禁看護の分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践ができる看護師のことです。ケアの実践だけでなく、医師や看護師等から相談を受けたり、ケア方法について指導したりする役割があります。

Q1 普段はどんな仕事をしていますか？

外来看護師として主に外科・皮膚科・形成外科などの外来業務をしています。認定看護師としては、褥瘡回診・NST（栄養サポートチーム）カンファレンスに参加しています。



Q2 皮膚・排泄ケア認定看護師になろうと思ったのはなぜですか？

看護師5年目の時に、褥瘡対策委員会と、病棟でのストーマの担当を経験しました。また、自己研鑽として褥瘡ケア・予防ケア・人工肛門ケアの勉強をしていました。

Q3 皮膚・排泄ケア認定看護師として心がけていることは？

皮膚・排泄ケアは、早期に関わる事が重要なため、病棟から依頼があれば、外来業務との時間を調整し、患者さんの病室を訪問するよう心がけています。

Q4 皮膚・排泄ケア認定看護師として、患者さんに伝えたいことは？

褥瘡は簡単にできてしまいますが、治すにはとても時間がかかります。そのため、スキンケア、耐圧分散マットレス、クッションを使用することなど、予防ケアがとても重要です。面倒臭い、お金がかかるからと予防ケアを怠らないようにしましょう。

ちよんぼし紹介
小笠原看護師の
ここは誰にも負けない点は？

皮膚トラブル、スキンケア、人工肛門、胃ろうケア等の皮膚・排泄ケアでお困りのことがありましたら随時相談を受け付けています。

2015年に千葉県からUターンし、大田市に帰ってきました。「大田の地域医療に貢献したい」という思いだけは誰にも負けません！



※「認定看護師」とは：ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有する者として、公益社団法人日本看護協会の認定を受けた看護師をいいます。